

事業所名	社会福祉法人 朋友会 ひまわりデイサービス		公表日		令和 8 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	子ども達の特性や相性によって2部屋に分けています。	制度上は問題ないスペースではありますが、人数が多いといくらあってもスペースが足りないと感じる事があります。場合により、運動室等を臨機応変に活用することも検討する必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準を越えないように調整しており、概ね適切です。また、集団で活動できる利用者はなるべく1つの教室にまとめて、集団活動しています。	重度の子に対し1対1でドライブしてから来所は厳しいなど、1日に1対1対応が必要な利用者が何人もいと支援が大変になる事もあります。また、送迎の人手が足りず、ご利用が受けできない時があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	一日の流れをホワイトボードに書いて見直しをつけたり、写真・イラスト等も提示するなど構造化しています。	ひまわりに来てから連絡帳・宿題を出すのに何度も声をかけています。来てからすることをまとめて、見やすくした方が良いかもしれません。また、水筒や連絡帳等の忘れ物が多く、子ども職員も見落としやすく、再発しない工夫が必要だと感じています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃・消毒を行っています。	加湿・換気等による感染症予防対策を今後も配慮していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	廊下・着替え室の利用、パーティションの活用し、必要な時は医務室を使用しています。	パニック時の利用者がクールダウンする部屋が足りず、廊下でクールダウンする場合があります。また、体調不良者がいた場合、個別対応の部屋として医務室が利用できないので、別に個室は必要で、医務室は1つのみなので、体調不良者が複数いた場合の対応が難しさを感じています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎日のミーティングの際に前日の支援のフィードバックをしています。	フィードバックを次の支援に活かしてきいていない気がするので、フィードバックをした上で次はこうしようとする具体的な支援に向けた話し合いが必要だと感じています。また、ミーティングの議事録はとってはいますが、それぞれ個別の支援手順書等としてまとめ直したいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎年アンケートを実施して、集計して業務を見直しています。	ガイドライン改定によるサービスの変更や業務の内容も大きく変わり、業務改善に繋がったことも含めて保護者への伝わりやすいように心掛けていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々職員間でミーティングや支援会議を行い、各自に意見を出してもらい、業務改善に繋がっています。	職員の支援に対する理解を深めていくために専門的な研修を今後も行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	法人全体として外部機関による評価は行っていません。コンサルタント会社によるアドバイスによって業務改善は行っていたことがあります。	法人全体の決定によりますが、今後外部評価を受ける事も検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に内部研修を行っています。	外部研修にも職員に参加してもらい、その内容を他職員にフィードバックするようにしていきたいです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムの公表は、すでにホームページに掲載しています。	HUGの連絡帳には毎回支援プログラムの目的など掲載しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	子どもや保護者様の意向を取り入れた計画を作成しています。	より専門的な内容のアセスメントを行い、そのための研修や専門的なアドバイスを取り入れていきたいと感じています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	個別支援会議をできるだけ実施しています。	長期休み等に入ってしまうとなかなか実施できていないのできちんと時間を作りたいです。また、職員全体の共通理解を研修等でレベルアップしていく必要性を感じています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	日々のミーティングを行って共有や支援を行っています。	日々のミーティングの内容に、計画に沿った支援の内容を振り返ったり、計画に追加できるような観察を行っていく必要性を感じています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	契約時に発達検査などフォーマルなアセスメントの結果をお預かりし、支援に反映させています。それ以外は普段の過ごす様子をインフォーマルなアセスメントとして組み合わせて反映させていま	せっかくHugを使ってるのでもっとしっかり利用したり、専門的のアドバイスを受けながら、フォーマルなアセスメントを増やしていきたいです。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者様からお聞きしたニーズ等やガイドラインを踏まえた将来的に必要な事を盛り込みつつ、計画を作成し、記載しています。	専門的支援加算の計画書なども含めて設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	ミーティング時間を設けて、リーダー・サブリーダーが主となり作成しています。	職員全員で考える時間を確保しつつ、立案とともに、実施させるための具体的な準備・行動予定の作成まで職員全員が行えるようにしたいです。また、下見も業務として含めたい所です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	土曜日は特にお子様が楽しめる事やお子様の世界観や社会経験を深めるプログラムを計画しています。毎月入れたいプログラムもありますが、名前は一緒でも内容は毎回変えています。	人気であったり、また行きたいという要望があれば繰り返しても良いのですが、外出先がマンネリにならないよう気をつけていきます。運動面が、複雑な動きが難しいお子様の場合、お散歩等になりやすい所はあります。なるべく工夫できるよう取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	利用者のその時の状況等で個別・集団で支援をし、プログラムの内容や子どもの特性、またその日の状況に合わせて柔軟に変更しています。	計画書に個別・集団活動の記載は、5領域の内容にもよるが、明記されているもの・されていないものがあり、出来るだけ反映させていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ミーティングで必ず打ち合わせ支援内容、分担や配置等について話し合いをしています。	長期休みのようなお預かり時間が長い日が続くと、話し合う時間がとりにくい時もあり、なるべく内容の確認や連携して役割分担をする時間を確保していきたいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	当日または翌日の朝にミーティングやフィードバックを行って情報共有しています。	長期休みのようなお預かり時間が長い日が続くと、話し合う時間がとりにくい時もあり、なるべく内容の確認や連携して役割分担をする時間を確保していきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	Hugでサービス提供記録を作成しています。また、ミーティングの議事録もとっており、支援の検証・改善に繋げています。	必要に応じて、記録を振り返りモニタリング等に活かしていきたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	6ヶ月に1回モニタリング・計画の見直しをしています。	Hugを活用して、保護者様へ確認していただき、デジタルサインがより多く出来るようにすすめていきたいです。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	色々な体験が出来るようにプログラムを考えています。また、プログラムに反映するとともに、それぞれの基本活動が出来るような環境設定を構造化したり、支援をしています。	今後とも内容を充実させていきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	余暇活動で自分で考えて活動してもらったり、プログラムの中でもある程度枠は決めますが、自由度も残して本人が選べるようにしています。	自己選択を促し、子ども達が自分の意思で決定し、また周囲と折り合いをつけるための支援は今度とも継続していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	保護者のニーズや子ども達の生きづらさを軽減するために、会議を開催し、責任者が出席しています。	今後必要に応じて開催し、参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	障害福祉事業所・学校など教育関係機関とは連携していますが、なかなか医療機関とは話しがづらい現状があります。	服薬等ご本人の生きづらさを軽減するために、医療のアプローチは保護者様と協力しながらすすめていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	HUGを活用して学校行事の確認や連絡調整、学校内の様子や学習・生活態度についての情報共有は主に保護者を通して確認をとっています。またマチコミメールで学校から連絡をいただいています。	学校と連携をさらに深めていけるように、信頼関係を築くとともに、話し合いの場を適宜設ける必要性を感じています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	契約時に保護者から聞き取り等を行うほか、相談支援事業所や学校等を通して情報を共有しています。	今後個人情報の扱いに配慮しつつ、情報共有を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	他部署と連携しています。今年度の卒業生も進路先の事業所と情報共有をしました。	今回は他事業所を利用していませんでしたが、今後は個人情報の理解を得つつ、他事業所とも情報共有をして提供をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	利用者全員ではありませんが、重度の特性により、支援に困った場合は発達支援センターからアドバイスを頂いています。	研修等にも可能な限り参加していきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	学童保育等の交流は、管理している役所との手続きや事前の打ち合わせ等が難しいため、実施できていません。	感染症の流行や、地域の障害福祉への理解の壁が今後の課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	常陸太田市で今年から相談支援部会が開催され、児童デイサービスも参加することが出来ました。	感染症が流行してからは難しいですが、可能であれば地域の事業所同士で交流を保ちたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時やお電話連絡の際に近況を確認し、お子様の発達や課題についてお話しています。	時期や都合により、十分な聞き取りができない状況もあり、定期的に聞き取りする時間を作りたいです。保護者会も検討していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	面談や送迎でお会いした際に助言することはあってもプログラムとしては実施できていません。	職員がペアレントトレーニングを行えるような知識や技術を持てるように成長していくのが今後の課題です。特別支援教育講演会などのテーマとしても検討していきたいです。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に、説明を行っています。支援プログラムに関しては来年度から公開していきます。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	ガイドラインに基づいて、ご本人や家族の意思を尊重しつつ、最善の利益や現在の課題、将来に必要な事や意向や好みを取り入れています。	今後もご本人やご家族のニーズに沿った支援を提起していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	年に一回ですが、保護者面談をして保護者に説明や意向の確認、同意を確認しています。	計画書は年に2回なので保護者面談も2回する事を検討していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時やお電話連絡の際に近況を確認し、その際のお話や相談に応じて、面談や助言、担当者会議等を実施しています。	時期によっては、業務の多忙により、保護者全員にはフォローが行き届かない所もあります。なるべく多くの方に配慮できるよう心掛けていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	感染症の流行への配慮や過去のアンケートで開催に否定的な意見もあったため実施できていません。	感染症の流行や保護者様が集まりやすいスケジュール調整に配慮しつつ、楽しくご参加できるような形式で実施を検討していくのが今後の課題です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	契約時に、苦情について受付体制の説明（茨城県運営適正委員会含む）をしています。他に児童や保護者からお話があった場合、すぐに対応しています。	今後とも誠実に協議対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	お便りを月に一回発行するほか、近隣の学校に配布しています。Hugの活動記録にて随時お知らせをしています。	公式LineやInstagram等、現在の流行に合わせて、保護者様に届くようなSNSも活用していきたいです。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいています。基本的に扱いに注意しているつもりですが、掲示で顔や名前が出たりするので完全ではないと思います。	今後も取り扱いに配慮していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者に学校やひまわりでの様子等の情報や、ご本人の要望や状況をお伝えしています。	今後も継続して配慮していきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	他部署を招待したりはありますが、感染症流行への配慮の点から、地域の方との交流はしていません。	感染症の流行や、地域の障害福祉への理解の壁が今後の課題です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアル作成しており、ご家族には契約時には計画に基づいて定期的に訓練等を実施していると説明しています。内容について安全計画でお知らせしました。	HUGを通じて、訓練の様子をお伝えしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	法人全体で研修の計画を定めており、その項目には、図上訓練・机上訓練の研修とともに、定期的に避難訓練等を実施しています。	今後も継続して訓練を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に、それらの状況と既往歴やかかりつけ病院など確認しています。服薬については、副作用への見守りも含めて服薬説明書をコピーしてお預かりしています。	今後も状況の確認を継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に、アレルギーの診断書を保管して、関係部署も含めて職員に周知しています。また、食事やおやつにも同様の配慮を行っています。	今後もアレルギーへの配慮を継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	BCP計画や非常災害等への安全計画・管理を行っています。その他の支援中の起こりえる事故についても事前に検討して見守りしています。	支援中の安全配慮について、確認が不十分な所があり、ヒヤリハット報告書等を提出しています。再発防止をしつつ同様の事が無いよう確認していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に、事業所の側の義務の第一項目として、利用者の生命、身体、財産の安全・確保に配慮するとともに、非常災害対策ならびに衛生管理等に必要な措置を行う事を説明しています。	今後も周知を継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書、事故報告書等を作成し、再発防止に努めています。また、法人全体で共有し、他部署の移行の際に引継ぎが出来るようにしています。	今後も再発防止をしつつ同様の事が無いよう検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	法人全体で研修の計画を定めており、その項目には毎回必ず虐待防止と権利擁護の研修を行っています。	今後も支援が虐待に繋がっていないかを確認しつつ、研修等を継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に、利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除いて、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わない事を保護者に説明しています。	今後も継続していきます。